

(様式 2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所	西宮市立西宮浜小学校	研究グループ名	3
属・職・氏名	主幹教諭 棚橋 厚子	ライフスキル研究グループ	

研究テーマ分類番号 (18)

(1) 研究テーマ

ライフスキルの参加型プログラムの開発と啓発

(2) 研究経過及び具体的な取組

WHO 精神保健部局は、世界各地で社会問題となっている子どもたちの危機的状況を未然に防ぐには、ライフスキル教育を導入すべきだとそのガイドラインをまとめた。

子どもたちに、「生きる力」(Willingness to Live)を育むために、私たちはライフスキルの内容や方法を研究し、1冊の本「かけがえのないわたし そしてあなたーライフスキルー」にまとめた。

今年度は、高等学校の生徒を対象としたワークショップの依頼があり、小学生だけでなく、対象者によりふさわしいプログラムの内容や実施方法、特別支援学級での実施方法について研究を進める。また、再度依頼される職員研修のプログラムを検討し、児童と共に、職員の自尊感情が高まる工夫も研修する。

6月16日 ワークショップの実施

- ・実施場所及び人数：兵庫県立和田山高等学校 参加者高1～高3生徒310名
研究員3名
- ・実施内容：高校生用に質問内容を変更した YUAI BINGO・ハートビーイング・**Dreams come true**の3プログラムを実施。
- ・成果と課題：思春期の高校生を対象にしたワークショップは初めてで、しかも体育館で全校生300人以上が、短時間でプログラムの意図を理解し積極的に参加することは、難しい面もあったが、次第に取り組もうとする姿が見られた。ハートビーイングでは、友だちの前で自分の本音を書くことに抵抗のある生徒も見られたが、「プラスイメージにかえよう」というワークには、友だちと相談しながら前向きに取り組んでいた。高校生や中学生を対象とするときには、どのプログラムにするかがカギになる。

7月22日 夏季休業中に実施するワークショップの準備

- ・実施場所及び人数：西宮市立安井小学校ほか 研究員4人
- ・実施内容：和田山の帰路に検討した実施プログラムの準備物を担当者が各自準備
- ・成果と課題：今年度までに作成したものを利用したり、原稿を印刷したりと

短時間で準備できた。メールで連絡をとりあったが、集まっ
ての打ち合わせのほうが、細部まで研究員の意思疎通ができる。

夏季休業中に実施したライフスキルプログラム啓発ワークショップ

実施日	研究会（場所）	参加者	研究員	プログラム
2014. 7. 28 月	三田市養護教諭研究協議会 （三田市立広野市民センター）	20 名	1 名	出合いのカード 感情パズル
2014. 7. 29 火	鳥取市立東郷小学校校内研修会 （鳥取市立東郷小学校）	14 名	3 名	ハートビーイング Dreams come true
2014. 7. 30 水	鳥取市小学校教育研究会 生徒指導部会研修会 （とりぎん文化会館）	75 名	3 名	リフレーミング トランプ 自分カルタ
2014. 7. 30 水	本庄小学校研修会 （三田市立本庄小学校）	12 名	1 名	YUAI BINGO メッセージボールパス
2014. 8. 26 火	夙川小学校研修会 （西宮市立夙川小学校）	26 名	1 名	あなたはどこ？ さんれもの冒険
2014. 8. 27 水	鈴原小学校人権教育研修会 （伊丹市立鈴原小学校）	20 名	3 名	イメージ遊び
2014. 8. 28 木	明石小学校人権教育研修会 （明石市立明石小学校）	31 名	3 名	グループ分け アイテムシールで ちらしで

- ・成果と課題：今夏初めて鳥取でワークショップを行った。一日目は小学校で
二日目は市の生徒指導担当者が対象で、二日続きの参加者もい
るので、グループ分けの方法やプログラムが重ならないように
した。ここでも「休み明けにすぐに実践してみたい」「脳と心の
関係を改めて大切に考えていきたい」などと好評だった。プレ
ゼンの画面の資料がほしいという要望もあった。

新しく開発したプログラム

- ・YUAI BINGO 英語版・日本語版・夏用・冬用 参加対象者に合わせて変えた。
- ・リフレーミングトランプ

（目的）人の性格（ネガティブな面とポジティブな面の両面）が書かれた 52 枚のトランプを用
いて、自分自身や他者のパーソナリティーを紹介し合うことで、自己理解、他者理解
が深まる。

（方法）52 枚のトランプから自分にあると思われるパーソナリティーを 10 枚選び、グルー
プ内で紹介しあう（他者理解）。」

トランプのハート、ダイヤ、クラブ、スペードのマークや 1 から 13 までの数字の意味
を知り、その選んだ 10 枚のマークの数の多さで、自分自身の性格の傾向を知る（自己
理解）。

特別支援学級での授業実践

10 月 30 日

- ・実施場所及び人数：西宮市立西宮浜小学校特別支援学級 研究員 1 人
- ・実施内容：知的 5 人と自閉症・情緒 3 人が在籍する学級で、「メッセージボールパス」を基に改良。言葉・ボール・音を送り受け取る「みんなでつながろう」として実施した。
- ・成果と課題：始まる直前にけんかしていた友だちにボールを送り仲直りしていた。普段はあまり感想をいわない児童が「名前を呼ばれてありがたいと言われるとうれしい」と話した。8 人が楽しく取り組めた。

保護者等対象のワークショップ

10 月 28 日

安井小学校学校保健委員会

- ・実施場所及び人数：安井小学校図書室 参加者 60 名 研究員 1 名
- ・実施内容：ニックネームの紹介・イメージカード・今の私は…・自分カルタ YUAI BINGO
- ・成果と課題：教師と保護者がいっしょになって活動できた。「久しぶりに笑い通しの 1 時間でした。日常で子どもにたちにかける言葉に気をつけていきたいと気がひきまりました。」「自分が心で感じたこのあたたかさを目の前の子どもたちにも味あわせることが教師として、親としての大きな喜びです」という感想を得た。

11 月 14 日

学文中 PTA 人権教育部学習会

- ・実施場所及び人数：学文中学校図書室 参加者 80 名 研究員 1 名
- ・実施内容：ニックネームの紹介・イメージカード・今の私は…・自分カルタ YUAI BINGO
- ・成果と課題：対象者が保護者中心、研究員も安井小と同じなので、ほぼ同じプログラムを実践した。心理療法についても簡単にふれた。今回も好評であった。